

カシオの歴史

カシオは、独創的なモノづくりによる社会への貢献を基本に、
ステークホルダーとのより良い関係づくりを追求してきました。



1957

世界初の小型純電気式計算機「I4-A」を商品化、
カシオ計算機株式会社を設立

事業活動

CSR活動



カシオミニ



カシオトロン



カシオトーン



G-SHOCK



QV-10



EXILIM

- | | | |
|---|------|--|
| トランジスタを採用した電子式卓上計算機「001」発売 | 1964 | 能力主義に基づく資格制度を導入、教育研修制度を整備 |
| 電子式卓上計算機を海外に初輸出 | 1965 | |
| | 1966 | |
| 東京証券取引所第二部に株式上場 | 1967 | 「品質のカシオ」を掲げ、不良撲滅（NCZD）運動をスタート |
| 東京証券取引所第一部に指定替え | 1970 | |
| 世界初のパーソナル電卓「カシオミニ」発売 | 1972 | |
| デジタル時計「カシオトロン」を発売し時計事業に参入 | 1974 | |
| | 1977 | 計算機の発展に寄与したとして、
内閣総理大臣から褒状を授与される |
| 時計用液晶パネル生産開始 | 1978 | |
| 電子楽器「カシオトーン」発売 | 1980 | |
| 電子辞書1号機「TR-2000」発売
ソーラー電卓「SL-801」発売 | 1981 | 第1回「カシオワールドオープンゴルフトーナメント」開催
一般消費者からの問い合わせに対応する専用窓口（消費者課）を設置 |
| | 1982 | 「カシオ科学振興財団」を設立 |
| 耐衝撃腕時計「G-SHOCK」1号機発売 | 1983 | |
| 超薄型デジタルウォッチ「ベラ」発売
液晶シャッター式ページプリンタ1号機発売 | 1985 | |
| ユーザープログラム不要の事務用情報処理装置
「ADPS RI」発売 | 1989 | 「全社品質高揚運動」スタート |
| | 1989 | 「消費者課」を「お客様相談室」に名称変更し、全国各地区に新設 |
| | 1991 | 環境保全委員会を発足 |
| 液晶モニター付きデジタルカメラ「QV-10」発売 | 1993 | 「カシオ環境憲章」「カシオ環境ボランティアプラン」を制定
特定フロン、1,1,1-トリクロロエタン使用廃止 |
| 電波クロック「DQD-10」発売 | 1995 | |
| | 1996 | |
| | 1997 | 山形カシオで ISO14001 認証取得 |
| | 1998 | 「カシオ倫理行動規範」を制定 |
| 世界初の GPS 機能内蔵ウォッチ発売 | 1999 | カシオグループ環境行動目標「クリーン & グリーン2」制定
グリーン調達ガイドライン制定 |
| 防水・耐衝撃機能を備えた cdmaOne 対応携帯電話「C303CA」
が IDO/DDI- セルラーグループより発売 | 2000 | 国内生産拠点およびカシオ計算機4事業所で ISO14001 認証取得完了 |
| ソーラー駆動の電波ウォッチ「WVA-300D/300K」を発売 | 2001 | カシオグリーンプロダクツ30(C.G.P.30)を開始
二次電池（充電式電池）のリサイクルを開始 |
| au 初のカメラ付き GPS 携帯電話が KDDI より発売
世界最薄（当時）のウェアラブルカードカメラ「EXILIM」発売 | 2002 | 甲府カシオ（本社および一宮）、カシオマイクロニクス（山梨）の
3事業所でゼロエミッション（埋立率1%未満）達成 |
| データプロジェクター市場に参入 | 2003 | 「カシオ創造憲章 行動指針」を制定、「カシオ倫理行動規範」を改訂 |
| （株）日立製作所と合併で携帯電話開発会社
「（株）カシオ日立モバイルコミュニケーションズ」を設立 | 2004 | 「CSR 推進室」「CSR 委員会」発足 |
| 5 モーター搭載のクロノグラフ「OCEANUS」発売 | 2005 | カシオ計算機とカシオリースがプライバシーマークの認証を取得
欧州向け全製品の RoHS 指令対応を完了 |
| 電卓累計販売台数 10 億台を達成 | 2006 | |
| | 2007 | カシオソフト、カシオ計算機（情報システム部門）、カシオ情報サービ
スが ISMS の認証を取得 |